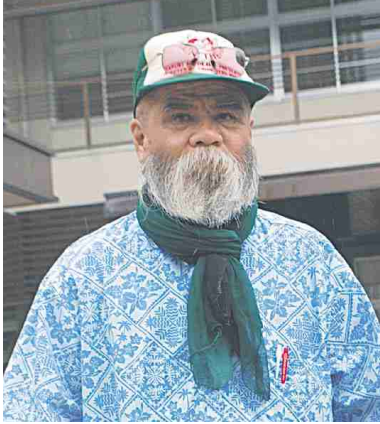


沖縄のページ

地元紙に「言論の自由」侵害を糾す



作家の上原氏

ドキュメンタリー作家の上原正稔氏は、沖縄戦で住民の集団自決が起きた慶良間諸島の現地調査を基に、「パンドラの箱を開ける時」と題する連載を執筆、平成19年5月26日の琉球新報夕刊で連載が始まったが、集団自決の真相の部分に差し掛かった同年6月19日、一方的に掲載を拒否されたという。掲載されなかったのは「慶良間の集団自決の真相に迫る」を題材にした51回分。

集団自決訴訟最高裁判決の影響も

「集団自決」訴訟は2005年8月、ノーベル文学賞受賞作家の大江健三郎氏が、「旧琉球」(岩波書店発行)で、「旧日本軍が集団自決を命じた」とする記述により、慶良間諸島で守備隊長を務めた梅澤裕氏と故赤松嘉次氏の弟秀一氏が名誉を傷つけられたとして、岩波書店と大江氏に出版差し止めと慰謝料の支払い、謝罪広告掲載などを求めて提訴した。08年3月に大阪地裁、同年11月に大阪高裁が請求を棄却、今年4月21日、最高裁第1小法廷、白木勇裁判長は、両

上原氏は今年1月31日、表現の自由侵害と著作権侵害を理由に琉球新報に対して未掲載分の原稿料と慰謝料合わせて約104万6千円の損害賠償を請求する訴訟(パンドラの箱訴訟)を那覇地裁に起こした。第一回口頭弁論が5月17日、同日裁が行われ、原告の上原氏は「相手にしたのは琉球新報だけでなく、反戦平和を隠れ蓑に言いたい放題やっていた琉球新報に責任がある」と主張し、続けて「マスコミとそれに媚びている文化人という名の偽善者たち」と断罪した。この訴訟には、これに先立つ沖縄戦集団自決訴訟の最高裁判決が大きく影響することになる



那覇市にある琉球新報の本社ビル

上告棄却決定は、単に告げ当りがないというわけではない。最高裁の政治的判斷・思惑があったと読み取れる」と指摘する。大阪高裁判決では、著者に対する将来の負担と言論の委縮の恐れが考慮された。徳永弁護士は、「真実よりも言論の自由を重視し、批判や論議による事実の探求に期待する判決である」と評価する。この訴訟は、被告の琉球新報社が答弁書の中で「1996年連載の沖繩ショウダウンですでに同じ内容のものを掲載している」と弁明。また、「連載を一方的に止めた事実はない。従って、表現の自由の侵害には当たらない」と認識している」とコメントしている。

震災救援募金を受け付けます

世界日報社は、地震で被災した方々のために、救援募金を受け付けます。募金は「東日本大震災義援金」と明記して郵便振替(00140-6-727790、加入者名株式会社世界日報社)か、現金書留(〒174-0041東京都板橋区舟渡2の6の25 世界日報社「東日本大震災救援募金」係宛)でご送金ください。郵便振替の手数料はご負担をお願いします。物資の受け付けはいたしません。匿名希望の方は、通信欄などにその旨をご記入ください。寄せられた義援金は日本赤十字社などを通じ、被災地に届けられます。

「パンドラの箱」掲載拒否裁判が開廷

那覇地裁

上原氏は今年1月31日、表現の自由侵害と著作権侵害を理由に琉球新報に対して未掲載分の原稿料と慰謝料合わせて約104万6千円の損害賠償を請求する訴訟(パンドラの箱訴訟)を那覇地裁に起こした。

この訴訟は、これに先立つ沖縄戦集団自決訴訟の最高裁判決が大きく影響することになる

上原氏は今年1月31日、表現の自由侵害と著作権侵害を理由に琉球新報に対して未掲載分の原稿料と慰謝料合わせて約104万6千円の損害賠償を請求する訴訟(パンドラの箱訴訟)を那覇地裁に起こした。

この訴訟は、これに先立つ沖縄戦集団自決訴訟の最高裁判決が大きく影響することになる

上原氏は今年1月31日、表現の自由侵害と著作権侵害を理由に琉球新報に対して未掲載分の原稿料と慰謝料合わせて約104万6千円の損害賠償を請求する訴訟(パンドラの箱訴訟)を那覇地裁に起こした。

この訴訟は、これに先立つ沖縄戦集団自決訴訟の最高裁判決が大きく影響することになる



「中華民國100年 東日本大震災チャリティーゴルフ大会」

大雨の中で日台チャリティーゴルフ大会(主催・中琉協会、在沖華僑団体)が16日、琉球ゴルフクラブで行われた。この日はあいにくの大雨に見舞われ、午前中約40組で中止となったが、同日夕、那覇市内のホテルで行われた表彰式・懇親会は、台湾からの参加者を含め約300人の関係者が集い、盛大に行われた。式では、東京から参加した台北駐日経済文化代表処の陳調和副代表(写真=中央)の前で、主催代表の國場幸一中琉協会会長(同左)から仲井真弘多知事(同右)に被災地への義援金として30万円の目録が手渡された。ゴルフ大会には、饒間光男浦添市長、台北駐日経済文化代表処那覇分処の粘信士処長、琉球台湾商工協会の新垣旬子会長、琉球華僑協会の林国源会長らも参加した。

「思った以上に大変な状況だった。沖繩県は少し離れているけど、県としては長期的な視野にたって支援していきたい」。今月10日から12日にかけて福島、宮城、岩手3県の被災地を訪問してきた仲井真弘多知事は、那覇市内で会談したとき、被災地を思い出しながらこう語った。仲井知事は10日、福島県で現地に派遣した県職員を激励したほか、同県の佐藤雄平知事を訪ね、県民からの義援金と県の見舞金目録を届けた。

11日宮城県庁で村井嘉浩知事と会い、岩手県では12日、達増拓也知事を訪ね、それぞれ県民からの義援金と県の見舞金目録を手渡すとともに、被災者の沖縄へのボランティア派遣など、被災地支援への意識が高まっている。かりゆしウエアやシンクワサーの贈呈や被災地の物産コーナーの設置、震災孤児の就学支援基金への協力体制の構築などの提案が出ている。

県は、4月30日から梅雨入り。連日雨模様が続いている。「今年の梅雨は例年にならぬほど、東北よりも暖かいからね」と近所の人。寒いといつも最低気温は24度はある。窓を開け、外の雨模様を眺めながら、被災地に思いを馳せる。(T)

「東日本大震災にむけて、われわれに何が出来るか」といったシンポジウムを開くほか、スポーツ選手の義援金募集協力や現地へのボランティア派遣など、被災地支援への意識が高まっている。かりゆしウエアやシンクワサーの贈呈や被災地の物産コーナーの設置、震災孤児の就学支援基金への協力体制の構築などの提案が出ている。

県は、4月30日から梅雨入り。連日雨模様が続いている。「今年の梅雨は例年にならぬほど、東北よりも暖かいからね」と近所の人。寒いといつも最低気温は24度はある。窓を開け、外の雨模様を眺めながら、被災地に思いを馳せる。(T)

県は、4月30日から梅雨入り。連日雨模様が続いている。「今年の梅雨は例年にならぬほど、東北よりも暖かいからね」と近所の人。寒いといつも最低気温は24度はある。窓を開け、外の雨模様を眺めながら、被災地に思いを馳せる。(T)

県は、4月30日から梅雨入り。連日雨模様が続いている。「今年の梅雨は例年にならぬほど、東北よりも暖かいからね」と近所の人。寒いといつも最低気温は24度はある。窓を開け、外の雨模様を眺めながら、被災地に思いを馳せる。(T)

県は、4月30日から梅雨入り。連日雨模様が続いている。「今年の梅雨は例年にならぬほど、東北よりも暖かいからね」と近所の人。寒いといつも最低気温は24度はある。窓を開け、外の雨模様を眺めながら、被災地に思いを馳せる。(T)

大雨の中で日台チャリティーゴルフ

「思った以上に大変な状況だった。沖繩県は少し離れているけど、県としては長期的な視野にたって支援していきたい」。

今月10日から12日にかけて福島、宮城、岩手3県の被災地を訪問してきた仲井真弘多知事は、那覇市内で会談したとき、被災地を思い出しながらこう語った。

仲井知事は10日、福島県で現地に派遣した県職員を激励したほか、同県の佐藤雄平知事を訪ね、県民からの義援金と県の見舞金目録を届けた。

11日宮城県庁で村井嘉浩知事と会い、岩手県では12日、達増拓也知事を訪ね、それぞれ県民からの義援金と県の見舞金目録を手渡すとともに、被災者の沖縄へのボランティア派遣など、被災地支援への意識が高まっている。

かりゆしウエアやシンクワサーの贈呈や被災地の物産コーナーの設置、震災孤児の就学支援基金への協力体制の構築などの提案が出ている。

県は、4月30日から梅雨入り。連日雨模様が続いている。「今年の梅雨は例年にならぬほど、東北よりも暖かいからね」と近所の人。寒いといつも最低気温は24度はある。窓を開け、外の雨模様を眺めながら、被災地に思いを馳せる。(T)

県は、4月30日から梅雨入り。連日雨模様が続いている。「今年の梅雨は例年にならぬほど、東北よりも暖かいからね」と近所の人。寒いといつも最低気温は24度はある。窓を開け、外の雨模様を眺めながら、被災地に思いを馳せる。(T)

県は、4月30日から梅雨入り。連日雨模様が続いている。「今年の梅雨は例年にならぬほど、東北よりも暖かいからね」と近所の人。寒いといつも最低気温は24度はある。窓を開け、外の雨模様を眺めながら、被災地に思いを馳せる。(T)

県は、4月30日から梅雨入り。連日雨模様が続いている。「今年の梅雨は例年にならぬほど、東北よりも暖かいからね」と近所の人。寒いといつも最低気温は24度はある。窓を開け、外の雨模様を眺めながら、被災地に思いを馳せる。(T)

情報プラザ

講演会「困難の時、私達の役割」5月27日(日)午後2時開会。会場は、多目的ホール(宜野湾市)。東日本大震災から2カ月がたち、国のあり方や復興に向けて世界中から注目が集まっている。沖繩空輸社長(電)098(876)89887。

公債がある。前売入場料14,500円から8,500円。問い合わせは同事務局(電)098(876)89887。

公債がある。前売入場料14,500円から8,500円。問い合わせは同事務局(電)098(876)89887。

公債がある。前売入場料14,500円から8,500円。問い合わせは同事務局(電)098(876)89887。

San-eit advertisement with contact info and company details.

Stefan Petrovic art exhibition advertisement.

Stefan Petrovic art exhibition advertisement with images of various artworks.